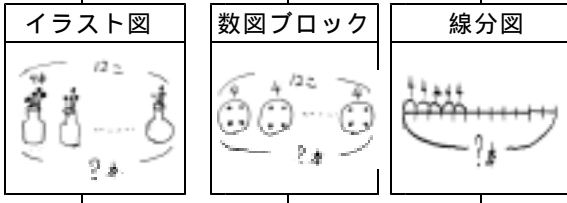


4 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 乗法の逆思考の問題 ($\div a = b$) を解くことができる。
- ・ 図は、自分の考えを整理したり、人に伝えたりするときに有効であることがわかる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	児童の意識の流れ	教師の支援
<p>1 順思考の問題を解く。</p>	<p>【問1】色紙があります。この色紙12枚を、1人に3枚ずつ分けると、何人に分けられますか。</p> <p>「分けると」ということばがあるのでわり算 $12 \div 3 = 4$ 答え 4人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章題を解くときの考え方を明らかにするために、順思考の問題提示する。「キーワード」を利用して解いているのか、問題の意味を考えて解いているのかを明らかにする。
<p>2 本時の課題を把握する。</p>	<p>【問2】花を買ってきました。これを12の花びんに分けると、どの花びんも4本ずつになりました。花を何本買ってきたのでしょうか。</p> <p>「分けると」ということばがあるからわり算 意味を考えると、かけ算になるんじゃないかな。</p> <p>図を使って自分の考えを説明しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を注意深く読み取らせたいので、あえて挿絵は使わない。 ・ 3人程度の児童が、わり算の式を立式すると思われる。教師はこの児童の考え「分けるがあるからわり算」という考えを、全体の場に出し、正しい考えを書いていた児童にもゆさぶりをかける。
<p>3 図を使って自分の考えを説明する。</p>	<p><分かっていること> <求めていること> 12この花びんに分けた 買った花の本数 どの花びんも4本ずつ</p> <p>さんによく分かるように説明がしたい。どんな図にすれば相手によく伝わるかな。</p> <p>イラスト図 数図ブロック 線分図</p>  <p>$4 \times 12 = 48$ 答え 48本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条件と求めることを明確にとらえる態度を養うために、「分かっていること」「求めていること」を書き出せるワークシートを用意しておく。 ・ どのようにして解けばよいかがよく分からない児童が数名いると思われる。教師は、その児童によく分かるように説明しようと投げかける。こうすることで、自然に図を使った説明ができるようにする。
<p>4 練習問題をすることで、本時の学習を振り返る。</p>	<p>・「分けると」ということばがあるだけでは、わり算かどうか分からない。 ・図を使うと自分の考えもはっきりしたし、友達にも伝えやすいなあ。</p> <p>子供35人が、7人ずつの組に分かれて、なわとびをします。なわとびの組は何組できるでしょう。</p> <p>長いロープがあります。2mずつに切つて、なわとびのなわを作ると、ちょうど6本できました。はじめの長さは何mだったのでしょうか。</p> <p>問1と同じだな 問2と同じだな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題が解けた後で、ほんとうにその答えでよいかもう一度振り返ることができる場をもつ。 ・ 2つの問題をいっぺんに提示する。こうすることで図をかくて、題意をつかみ取ろうとしているかを評価したい。

